

クライアントとコミュニケーションを積み上げることこそ「建築」。



取締役・工事部長 / 石村 斉さん
不動産会社勤務を経て、1995年に入社。福岡を中心に、九州全域を担当する。代表作は「5TH HOTEL」(福岡市春吉)、「アレッタ」(北九州市小倉、福岡市天神etc.)など。

ビルや店舗は何によって作られているのだろうか。多くの人は鉄骨や木材、コンクリートと答えるだろう。だが、建築の現場長として、時には設計士らと束ねるプロジェクトリーダーとして活躍する石村斉さんの答えは違った。

「クライアントの要望に耳を傾け、その意向を形にするのが建築だと思っんです」

石村さんの言葉は「建築とは、コミュニケーション」という材木を積み上げることだと伝えているかのようだった。

15年前の入社以来、常に建築の最前線に立ってきた。「創技建」がこれまでに手掛けてきた全施工実績7000件のうち、石村さんが携わったのは実に半数以上。月平均50もの

案件を並行して進めてきたことになる。この圧倒的な経験値が、最大の武器だ。石村さんはクライアントからの要望に、自身の豊富な体験から得た利用者のニーズを盛り込んでいく。

「クライアントには必ず「こんな施設にしたい」という思いがあり、その先には必ず利用者・お客様がいます。両者をつなぐのが私の役目です。結果としてクライアントが持つ「らしさ」が出せばいいですね」

時間や資金、労力の無駄を出さないように、特に打ち合わせには念を入れる。

「度生じたズレは取り戻すのに倍以上の労力がかかりますから」

何度もクライアントの元を訪れ、意見の相違を一つひとつすり合わせ

ていく。強固で揺るぎない精神的な基礎。が築かれた上で、建物は造られる。

「創技建」では「デザイン」集客力」を信条とし、熟練の宮大工も抱え、上質なデザインの建築物を次々と世に送り出している。

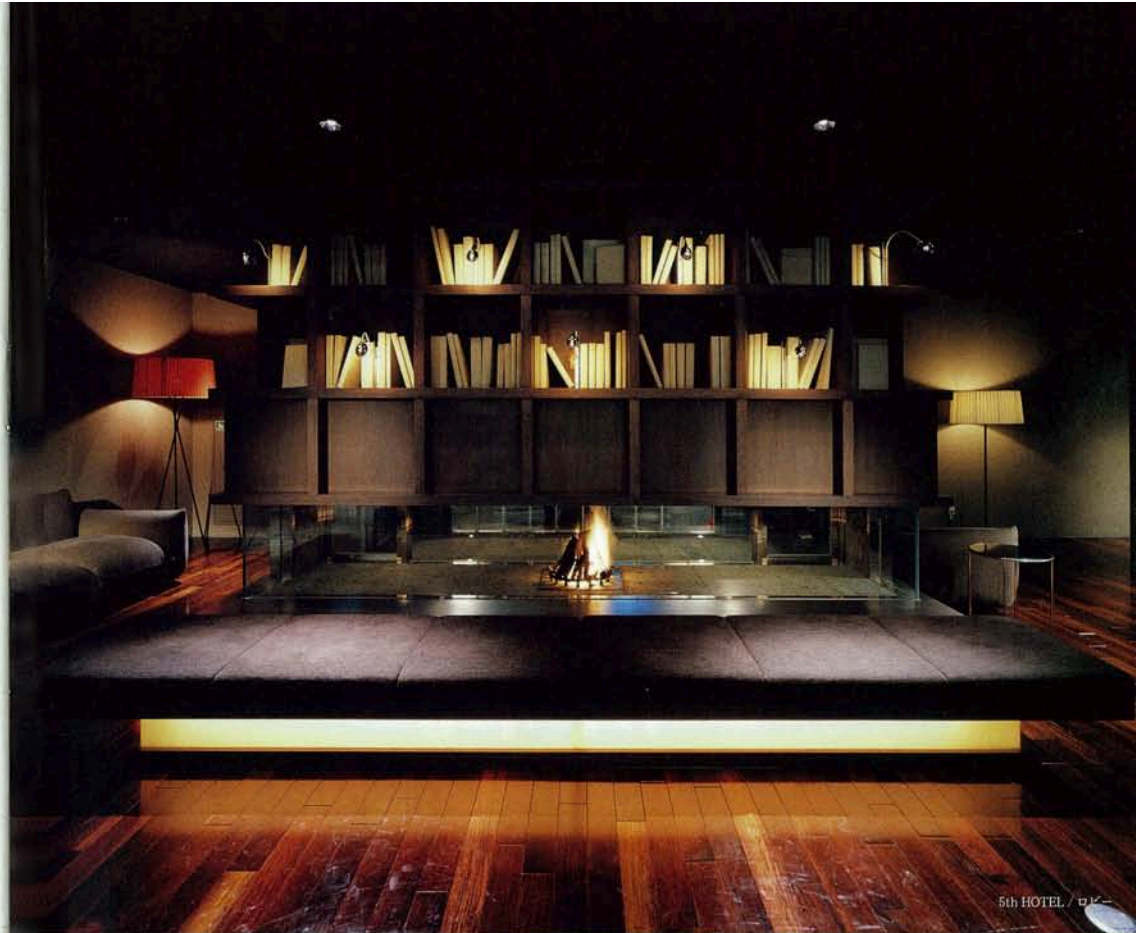
「ここ10年で、デザインに対する考え方が大きく変わりました。見た目の格好良さ、奇抜さを求められることが増えましたが、これらを行きさせるために、使い勝手が悪くなるのは本末転倒です。デザインを考える時は、常に機能性も意識しています」。

石村さんが手掛けた空間は、機能美をも兼ね備えている。

「商業施設では、店に入ってもらわないと中身の魅力が伝えられません。これからは置かれた商品が引き立ち、スタッフが輝くような空間を作りたいですね」



フランス料理「ビエール・ブラン」(飯塚市:オーナシェフ白石)の施工例



5th HOTEL / ロビー



5th HOTEL / 客室



5th HOTEL / ファサード



アレッタナリブシチ小倉店



COMPANY INFORMATION
株式会社 創技建
店舗、商業施設のデザイン・設計・施工を一貫して請け負う建築会社。クオリティの高い店舗、商業施設作りで定評があり、繁盛店も数多く手掛ける。Customer Satisfaction・Company Profit・Employability Satisfaction
本社 / 福岡県太宰府市幸府1-4-44 / ☎092.923.0648
別府事務所 / 大分県別府市末広町6-33 / ☎0977.75.8800
<http://www.sogiken.co.jp>